平成 20 年 5 月 12 日

アドバンスドモードについて

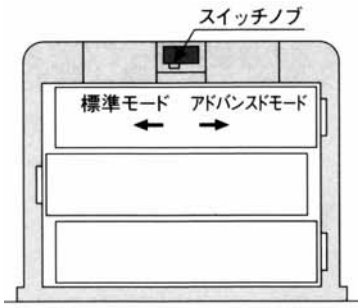
簡易型電文設定器ＳＴ－４０３Ｃ、ＳＴ－４０３ＣⅡには、より高度な設定･確認通信ができるアドバンスドモードがあります。
ＳＴ－４０３ＣⅡは、ＳＴ－４０３Ｃに比べてアドバンスドモードの機能が強化されています。

アドバンスドモードへの切替え

工場出荷時は、標準モードになっています。
アドバンスドモードにするときは、スイッチの切替えが必要です。

アドバンスドモードへのスイッチ切替え方法

電池蓋をはずすと、切替えスイッチがあります。
スイッチを右方向にするとアドバンスドモードになります。



【注意】
電源オン中にスイッチを切替えても、切替えが有効になるのは、電源オフ後の次回の電源オンからです。

アドバンスドモードにしたときに増える機能

モード１

ＳＴ－４０３ＣⅡのみの機能です。

・１４確認通信で、圧力異常項目と閉塞圧力･供給圧力異常回数が交互に確認できます。
奇数回目は圧力異常項目の通信を行ない、偶数回目は閉塞圧力･供給圧力異常回数の通信を行ない、通信結果の表示を行います。
但し、マイコンメータの閉塞圧力･供給圧力異常検知機能が停止している（モード１の項目コード１０または１１）場合は、奇数回目、偶数回目ともに圧力異常項目の通信結果を表示します。
また、閉塞圧力･供給圧力異常回数を表示しているときは、項目コード１４が点滅します。
表示方法については、ＳＴ－４０３ＣⅡの取扱説明書 P.15 を参照してください。

【注記】
マイコンⅡ、Ｌ、Ｃ、Ｂには、圧力異常項目及び閉塞圧力･供給圧力異常回数の機能はありません。
(Ｅ－１またはＥ－３エラーになります)

モード２

ＳＴ－４０３ＣⅡのみの機能です。

・１４確認通信でセキュリティデータとセキュリティデータ２が交互に確認できます。
奇数回目はセキュリティデータの通信を行ない､偶数回目はセキュリティデータ２の通信を行ない、通信結果の表示を行います。
セキュリティデータ２を表示しているときは、項目コード１４が点滅します。

【注記】
マイコンⅡ、Ｌ、Ｃ、Ｂは、奇数回目、偶数回目ともにセキュリティデータの通信結果を表示します。メーカによっては、２回目以降の通信がＥ－３エラーになります。

・１５確認通信で、遮断詳細データ値と使用時間遮断延長履歴が交互に確認できます。
奇数回目は遮断詳細データ値の通信を行ない、偶数回目は使用時間遮断延長履歴の通信を行ない、通信結果の表示を行います。
但し、使用時間遮断の延長機能を保有してないマイコンメータの場合は、奇数回目、偶数回目ともに遮断詳細データ値の通信結果を表示します。
また、使用時間遮断延長履歴を表示しているときは、項目コード１５が点滅します。

【注記】
マイコンⅡ、Ｌ、Ｃ、Ｂは、奇数回目、偶数回目ともに遮断詳細データ値の通信結果のみを表示します。メーカによっては、２回目以降の通信がＥ－３エラーになります。

・１６確認通信で、微少漏洩日数(圧力式・流量式)と流量式微少漏洩判定日数が交互に確認できます。
奇数回目は微少漏洩日数の通信を行ない、偶数回目は流量式微少漏洩判定日数の通信を行ない、通信結果の表示を行います。
但し、流量式微少漏洩判定日数設定機能を保有してないマイコンメータの場合は、奇数回目、偶数回目ともに微少漏洩日数の通信結果を表示します。
また、流量式微少漏洩判定日数を表示しているときは、項目コード１６が点滅します。
【注記】
マイコンⅡ、Ｌ、Ｃ、Ｂは、奇数回目、偶数回目ともに微少漏洩日数の通信結果を表示します。メーカによっては、２回目以降の通信がＥ－３エラーになります。

モード３

ＳＴ－４０３Ｃ、ＳＴ－４０３ＣⅡの両機種ともに保有していますが、ＳＴ－４０３ＣⅡは、平成 19 年 4 月制定及び改定のマイコンメータ技術基準に対応しています。

・項目コード１～７で、マイコンメータのデータ編集ができます。
データ編集の手順
①変更したい項目コードに合わせ、確認通信を行います。(元データの読込み)
②通信成功後、▽キーを押すとデータ編集モードになります。
③▽キーを押して、編集したい桁を点滅させます。(編集できない桁は飛びます)
④△キーを押して、変更したい数値(16 進数)に合わせます。(編集できない数値は飛びます)
⑤設定／確認キーを押して設定表示にし、データを確定させます。
⑥ON/START キーを押して通信を行います。通信が成功すると設定器のデータ部に変更した内容が表示されます。このとき、データ部に点滅があるとメータの保有機能、設定優先順位などで編集したデータがそのまま設定できなかったことを表します。(点滅したデータが設定されています)
【注記】
標準モードでは、項目コード１～７確認通信をした後に、△▽キーを押すと項目コードが変化しますが、アドバンスドモードでは、▽キーはデータ編集モードになりますので、確認通信のみを順次行うことはできません。アドバンスドモードで確認通信のみを行う場合は、確認通信終了後に設定表示にし、△▽キーで項目コードを変更し、その後確認表示にして通信を行います。
データ編集内容を間違えてデータを確定した場合、設定／確認キーで確認表示に戻すとデータの再編集ができます。
【ＳＴ－４０３ＣⅡで追加された機能】
マイコンＳ４、Ｅ４にも対応しています。
項目コード３(メータ制御コード値３)のＫ１９、Ｋ１８が編集できます。
【編集可能なデータ】
残量管理データ(項目コード４～７)は、全てのマイコンメータの編集が可能です。
メータ制御コードは、設定器の機種によって編集可能なマイコンメータ及びデータが異なります。
詳しくは、
ＳＴ－４０３Ｃ　モード３の制御(アドバンスドモード)
ＳＴ－４０３ＣⅡモード３の制御(アドバンスドモード)　を参照してください。

モード３のアドバンスドモードを利用してデータ編集を行うには、ＬＰＧ用マイコンメータの電文及び機能に対するある程度の知識が必要です。